



# ららばい、通信

2023年  
夏号

日本の子育て文化、生活史、日本語の集約象徴といえる子守唄の大切さを今一度見直し、広めてまいります。

「日本ららばい協会」は「日本子守唄協会」へ名称を戻します。



画／大野隆司

## [ 目 次 ]

- 特集「お母さんのための 子守唄教室」 西館 好子 …2
- 【インタビュー】菅佐原 道夫 母の力 …5
- 連載 橋の下の菖蒲 わらべうた 童謡 詞華抄3 尾原 昭夫 …6
- 連載 子ども虐待は、今「韓国にて」 —「親子心中」国際シンポジウム— 川崎 二三彦 …10
- 日本子守唄紀行 「坊やはよい子だ」（東京都江東区・台東区） 鶴野 祐介 …12
- 連載 「医者冥利に尽きる感動物語」 帯津 良一 …14
- 連載 直島便り 「存在する理由と意味」 山根 光恵 …16
- 【インタビュー】三浦 真澄 地元からいただいた愛のお返し …18
- COLUMN / 歌って笑って健康長寿！ 稲村 なおこ …20
- 事務局Naoの日記「見守る器」/活動報告 …21
- 寄付者名簿



## 令和5年 ららばい通信 夏号を お手元にお届けさせていただきます。

毎日のように日本のどこかで大きな災害が発生しています。コロナでダメージを受け、一段落した後は災禍を忘れて外に出ようとはかり、人であふれ日本中混乱状態。

「大きな時代の変化」と皆さん感じています。やはり、「食べて」「働いて」「寝て」は変わることはありません。やはり、日常生活の充実を見直し、落ち着いて暮らせるようにしたいとしみじみ思います。今期より改めて「日本ららばい協会」から以前の「日本子守唄協会」へ名称を戻しました。大切なものは変えてはならないということ、美智子皇太后の「私が外国で飛行機のトラブルを降りたら子守唄が流れてきたの」の言が今も記憶に残っています。子守唄よ甦れ、そして子守唄を再び母の口の端にのせて我が子に歌った時、この混乱はやっと静まるのではないかと信じています。

2023年夏号をお届けさせていただきます。

日本子守唄協会 理事長 西館好子



## 世界の中でも

## 小さな島国の日本

日本子守唄協会 理事長 西館好子

世界の中でも小さな島国の日本。文化と歴史そして穏やかな人情の国として、かの有名なアインシュタインですらその存在の大切さを感じ、「最も地球上に残したい国」と称賛を惜しまなかったといえます。

しかし、その国で生きる私たちは案外そのことに無頓着。時代が混んとした中で日本の良さを自認する自覚は日々欠如しています。

私は随分とたくさんの国々を旅してきましたが、どこに行っても日本より良い国はありませんでした。

簡単に言えば、清潔で水が自由に飲め、飢える人もいません。病院は完備され、教育は充実し、安心な国土……。そこまできて、はたと筆が止まります。今は安心でも安全でもなく、節操と節度が日々薄れていっているように感じます。貧しくとも人間の心が湧いていなかったことが他国の称賛を集める基になっていたと気づかされるのです。



## 「日本ららばい協会」から 「日本子守唄協会」へ名称を戻します。

2000年に発足された当協会は、今年で23年目を迎えました。設立当初、すでに死語に近かった「子守唄」を軸として活動していくことに周囲の方々の理解を得ることができず、苦勞した記憶があります。

「今更？」「なにそれ？」「どうやって仕事にしているの？」

そんな心配の声が数多く寄せられました。実はかくいう私もそう感じていた中の一人でした。たかが母親が唄う歌……くらいに思っていたのです。

2000年の春、幼児虐待で子どもの命が奪われる事件が起こりました。私自身、離婚後にさんざんな苦勞があり、やっとの思いで得られた仕事が虐待の取材という不慣れなもの。しかも「虐待」という言葉が日常的に使われるようになり始めたばかりのさなかでした。

親が可愛い我が子を痛めつける、死を突き付けられた幼い子は何の抵抗もできないままこの世を去っていくのです。

「この子はまだ母親の胸の中で子守唄を聞いて寝ていられたはず」

その時の担当刑事さんの一言が胸に刺さりました。

当時、日本小児病院院長だった小林登教授

が「社会が優しくならない限り子どもの虐待は減らない」とご指摘され、子守唄が子どもの眠りに必要なだけでなく、母親にとっての心のありようを優しくする「母親学」にもいかに必要かを提言されていました。

「子守唄は子育ての処方箋」

その言葉から私の子守唄修業が始まったのです。そして、その深さや大切さは私の残りの人生を費やしても学びきれないもので、多くの人と手を取らなくては成立しない重要なミッションであると実感しました。

うけて私はNPO法人「日本子守唄協会」を設立、詩人で子守唄研究の第一人者である松永伍一氏を会長、小林登氏を副会長に迎え、子守唄の採譜、研究、保存、資料、DVD、CD、出版の作成などに着手しました。

子守唄を素材として、虐待防止、母親学の位置づけの基礎作りを始めたのです。それでも虐待は減ることなく、今もなお増え続けています。

また、イベント、研究会、シンポジウム、里づくり、文科省、地域、行政、企業、学校、保育園、幼稚園などへの活動も継続して参りました。その間、東日本大震災では被災地への支援応援、被災地巡業や虐待で保護されている子ども達への定期的なコンサートなどの

活動も行ってきました。

子守唄は赤ちゃんに歌われるもの。言葉も話せない中で無意識に聞く心の宝物、歌う母親には愛情の発露や心の安定を図る働きをします。

2021年のコロナウィルス感染拡大では、事業方針の大きな転換を余儀なくされ、定款の変更や様々な事情から「日本ららばい協会」へと改称、SNSを活用しての支援活動や、シングルマザーの配食活動などに終始してまいりました。

しかし、世界で一つしかない日本の子守唄に対しての愛着は消えることはありませんでした。

「子守唄に学ぶお母さん学」家族感や女性の自立という現代に欠かせないテーマを持っているもの、さらに社会が変化し女性の知恵や生き方がどれほど重要か、やがて賢い女性たちの時代がやってくると感じ、その原点の子守唄を通して、かつて自身がオーストラリアで体験した「女性村」を日本で創設するところまでにとどり着きました。

命を産み、育て、社会へ旅立たせる子ども達に関わる女性たちの自立こそ日本の原動力になるであろうと信じ、改めて「日本ららばい協会」から「日本子守唄協会」へ戻すことを決めました。

どうぞ、今後も皆様のご意見やご支援の中で当協会を育てていただきたく、よろしくお願いたします。

日本子守唄協会理事長 西館好子

# お母さんのための子守唄教室

第1回

日本子守唄協会理事長 西館好子

## 1. 子守唄ってなあに

子守唄は子育ての手段として、赤ちゃんを眠らせるためにうたわれる唄の事です。大きく分けると「眠らせ唄」と「遊び唄」に分けられます。

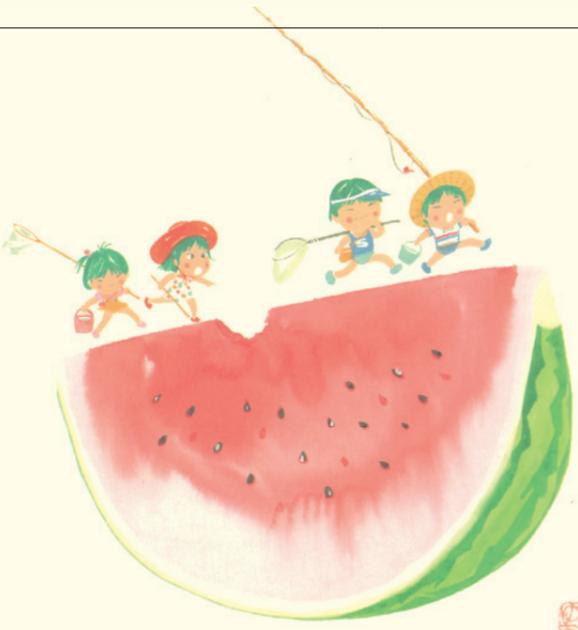
眠らせ唄は読んで字のごとく赤ちゃんを心地よく眠らせるためにうたわれます。

遊び唄は、「あわわ」「おつむてんてん」「かいぐり かいぐり とつとつめ」

「上がり目 下がり目 ぐるりとまわして猫の目」「にぎにぎ」「いないいないばあ」

などと五感を使って赤ちゃんを機嫌よく遊ばせるための唄です。これも眠りに誘い込む効果があります。

眠らせ唄も遊び唄も、伝承された古いものから即興のオリジナルのものまで数限りなくあり、うたわれる対象が赤ちゃんであり、うたうのが大人や子どもをみる人たちであれば、唄われるのはどんな詩や曲であろうが、子守唄といえます。



## 3. どんなふうにならうたらよいのですか

どんなふうでも構いません。

しかし、言葉の抑揚や発音の楽しさがあれば、赤ちゃんよりうたうお母さんの方が楽しくなるのではないのでしょうか。子守唄をむずかしく考えないで下さい。

生活を楽しむ、毎日を明るく考える。幸福も不幸も人生の中ではまったく同じ位置にあるという覚悟が、子を持つ親には大切です。いちいち浮き沈みの激しい感情にとらわれていては、とても子育てなど出来はしません。ドンとかまえて、楽観的になるのが子育て上手というものです。

自分の子がマニュアルどおりでないのでオカシイと思うか、我が子は我が子と開き直るかで、子守唄のうたい方も変わってきます。

所詮、子育ての満点は50点。なぜならどう転んでも子どもの半分は父親の遺伝子に動かされているのですから、もともと母親が自分でコントロールできない要素なのです。

子育てがしめしめうまくなったと思える点数は50点で、それが満点ということを理解しておけば要らぬ期待や法外な夢をかけることもないでしょう。子守唄は楽観的な母親から口

## 2. 誰がうたうのですか

誰でもうたえます。家庭の中で両親には是非うたっていた方がいいと思います。

子供が育っていく過程で、その家庭のあり方は大変重要な意味を持ちます。

直接育児に係わり子どもに一番影響を与えるのは育ててくれる両親である、というのは当たり前といえは当たり前です。

愛情深く育てられれば、安眠して、明るい表情や表現にもなります。子どもが愛されて育つための鍵は親が握っているといっても過言ではありません。

親の心持と態度が子に影響するとなれば、誰も無関心ではいられないはずですが。難しい唄をうたうわけではありません。ニコニコして眼を見て、子にあわせてうたつてあげてほしいのです。生まれた瞬間からお母さんはわが子專屬のシンガーソングライターということでしょうか。万人のためとはいきませんが、わが子にとっては唯一の歌手はお母さん、凝視される母親は子どもにとって大スターといえます。

を突いて出てきた言葉を勝手に唄うたえばいいものなのです。

いってみればうたう素材は山ほど身近に転がっているのではないのでしょうか。

つらいこと嬉しかったこと。姑への愚痴や、夫への苦情、心の憂さの吐き出しをそっとしてみられるのも子守唄のいいところです。

私の知っている娘さんは俳句を子守唄にしています。

「逆らわず、にっこり笑って従わず」これって姑対策のバイブルみたいなものです。

帰りの遅い亭主を、帰ってきたらとちめてやろうと待ち構えているときには、赤ちゃんと一緒に苦情を並べ立てていると気が晴れます。

## 4. 子守唄の特徴は

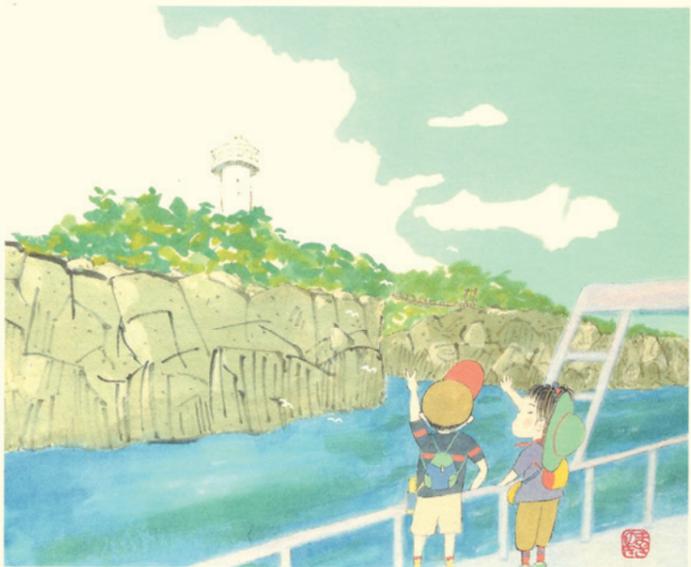
子守唄の研究にそのほとんどを費やしていらした詩人の松永伍一さんは、お母さんの「即興詩」「つぶやき」「独り言」が子守唄だといっています。

① 古来子守唄には正しいとされた形式も様式も存在しません。

今うたっているものの多くは伝承者から採譜したり、その土地に古くからうたいたい継がれていたもの、その家にうたいたい継がれたものなどです。また解りやすく編曲したものもあります。

② 暮らした様子や心情、感情、時には愚痴や苦情といったもので、唄の素材はまったく自由です。

③ 即興ですから、いつでも何処でも作り、うたうことが出来ます。



いつでも見ていたい、触ってほしい唯一の存在が、お母さんなのです。

うたうのが母親であって欲しいということが第一条件ですが、現代では、母子家庭で母親がいつもいるとは限らないときもありますし、父子家庭ということも考えられます。不幸にして、双方の親が不在ということもありえます。再婚や離婚というばあいもあり、家族の形は千差万別、多種多様で、家族の形はさまざまです。そこでは子守唄は要らないのでしょうか、そんなことはありません。赤ちゃんに係わる大人たちの全部に子守唄をうたう義務と資格があるのです。

④ 繰り返し繰り返しうたつても疲れるものはありません。

⑤ 多数の子を相手にしているというより、あくまでも「我が子」のために、うたうことが基本です。

感情を正直に吐露していくものが子守唄です。なんの手本も無いのに子守唄をうたえることを、不思議に思うお母さんが居ますが、自分でも知らないうちに、唄が口の端にのって出てくるのは、どこかで唄いついできたうたと体が憶えているからなのです。

作詞が難しいということはありませんし、曲が飛びぬけて特殊というわけでもありません。眠らせることが目的ですから、ゆったりとして単純なリズムが通例であり、騒々しいものやテンポの速いものは子守唄には合わないようです。子守唄の最たる特徴は、「100人のお母さんには100の子守唄がある」というものです。

## 5. 子どもはどんな反応をするのでしょうか

実は赤ちゃんは、子守唄の意味はさっぱりわかりません。

しかし、おなかの中に居るときに、一番身近な音はお母さんの呼吸や心臓の音です。またゴロゴロなる腸の音や大動脈の音をきいて大きくなっているのです。

良くおなかの中で聞こえるのは波の音、海の音といわれますが、確かにぎざぎざという心臓の音は潮騒の音に近いかもしれません。その中で十月十日の間を送り、育っていくのです。そ

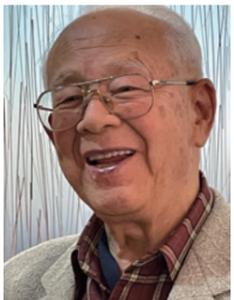


INTERVIEW

# 母の力

## 【インタビュー】

スガツネ工業株式会社元会長 菅佐原道夫



「いやあ、僕は本当に偉大な母親ってこういう女性のことと思いましたがね、心底。」  
感極まったという言葉の後、菅佐原道夫会長はしばし余韻の中に当時を思い出しているようだった。

昭和34年、当時の皇太子明仁殿下は皇室初の民間人正田美智子さんと結婚を決意、その報道は日々を追って過熱していきました。  
美しく、聡明な美智子様は国民が熱狂したのは言うまでもありません。しかし、皇室初の民間人とのご成婚は古い体質と伝統を重んじる皇室内部からは「これで日乃本も終わり」と公然と嘆かれるほどの反発と敵意に満ち溢れていて、心からの歓迎はありませんでした。

心底から愛情に懸けた皇太子の覚悟もさることながら、考えれば嫁がせる正田家のご苦労と心痛はいかばかりか、国民はそこまでは推測できなかったと思います。  
「いやあ、その決定から両親であられる正田夫妻は生きた気がしなかったのではないのでしょうかね。父上は職を辞し、実業家としての社会との接点を絶たれましたし、そりあ、お母さまの気苦労は並大抵ではなかったことと思います。」

を頭脳ではなく、体で覚えているということではないでしょうか。

「心」というのは正直なもので、素直な人はその素直さを、正直な人はその正直さを、ごく当たり前に発揮できます。無意識のうちに大切な宝物が顔を出すからです。

「愛」というものが変わらざるとすれば、それを受けるほうもさることながら、愛をあげたいほうが何の見返りも求めない無償の美しさで輝いていくのかもしれない。  
赤ちゃんへの親の愛は「わが身と代えても良い」というほど強烈なものです。  
自分の命より大切なものを得た人は幸せです。その幸せは、そのままその子の赤ちゃん時代に植え付けられるものなのです。

惜しげなくたっぷり赤ちゃんを可愛がる中で、親の方もあまり意識などしないで子守唄をうたうから、きつと大切にその子の心の中に静に眠ることになるのでしょう。  
女性たちの持つ宝石箱の中にしまわれた宝石のように、出番がくるまで保管されるのが、子守唄なのです。

## 7. 命とどうかかわっているのですか

人間の祖先はネアンデルタール人だと、教わったことはありませんか。あのゴリラのような猿人間の絵は、一度はみんな見ているでしょう。  
本当は20万年前、アフリカの新人がその祖先だともいわれています。地球に誕生した人類は、その時何を見たでしょう。

まだ定まっていない大地、地鳴りや地震。地は裂け割れ、山は爆発し、水は氾濫して、海や川を作るために繰り返し激流となります。寒暖定まらない中で、人類は、獣と同じに右往左往していたことでしょう。  
人間もあらゆる生物と同じように、安全に暮らせる場所を見つけるために移動を繰り返していました。その中で本能とも言える奇跡を見つけました。

「命」です。このあたりはもはや神の分野です。神は男を作り、女を作り、男女の間に子ができ、やがて好きという感情が芽生え、男女は命を守ることをするようになります。

命は周囲の刺激をとりいれる能力を持っています。刺激によって発達し、脳を発達させ進歩し続けます。そして、命の誕生は子守唄を生み出しました。

子守唄は、命と最初から関わっているものなのです。

次号につづく



入るに見本はないわけで、どんなに苦労なさったか、しかも、ご夫婦ともに絶対表にも出ず、控えめに、身を処す覚悟はなさっていたのであります。むろん私は直接担当しました。お母さまの顔をつぶしてはならないという一心でした。それは言葉一つ一つにしても慎重でしたよ。」

私も親しい方に伺ったことが二つあります。一つはお母さまが、嫁ぐ娘に「あなたは生贄のつもりで嫁ぎなさい」と話したとか。  
まあ、天皇になる方に命がけで思われたら、断るなどできっこないと勝手に納得した次第です。

もう一つは本当の話。正田さんという私の日本子守唄協会の会員さんは美智子さまの親戚にあたります。お母さまからご成婚後の親戚づきあいは以後ご遠慮させていただきます、とご丁寧なご辞退のご挨拶をいただいたそうです。どんな些細なことでも、何が話題になるか、物議を起すか、用心に用心を重ねたのではないのでしょうか。

皇室に嫁ぎ、どれほどのご苦労をなさったことでしょうか。嫁ぐ側も嫁がせる母もともに偉大であつたということだと思います。  
昭和は懐かしく、平成の誇れる格は美智子皇后に代表されると私も思います。心底、感謝のきもちでいっぱいです。

菅佐原会長もまた、まだ創立間もない日本子守唄協会にいらして母が口ずさんでいた子守唄を探してほしいと、依頼してお帰りになりました。あれからの長いお付き合い、世界のスガツネとなった今もお母さまへの思いを持ち続けていられます。母はどこでも強いのですね。

ききこ 西館 好子

# 橋の下の菖蒲

わらべうた 童謡 詞華抄3

わらべうた研究家 尾原昭夫

## 「橋の下の菖蒲」千年の伝承

草履きんぼきんぼ 橋の下の菖蒲が  
咲いたか咲かぬか まだ咲きそろわん  
みようみよう車を 手にとつて見たら  
ひごろく孫六 いさみの十郎兵衛  
「鍵か 錠か 鍵なら出しちやろ」

下駄かくしうた(島根県浜田市)



燕子花図(部分)  
尾形光琳画 江戸中期 日本の名画808

この「橋の下の菖蒲」のわらべうたは、昭和十年(一九三五)刊『続日本童謡民謡曲集』に載る田中賢二郎採集・採譜による記録で、次のようにその遊び方が解説されている。(楽譜参照)

今頃子供等が夕方などによくやつてゐる遊びである。

下駄をはいた子供(B)が適当な所へ並んで腰をかける。一人の子供(A)がIの歌を歌ひ乍ら順々に腰をかけてゐる子の膝をおさへてまはり、歌の終りにあつた者の下駄を片方だけとる。次にはこのとられた者を除く他の者を上の様にしてまはり、遂に全員の下駄を片方づゝとり上げるとAはBの者に順々に雨、晴、雪のいづれかを答へさせて、その者の下駄を投げて見る、表は晴、裏は雨、横が上になつたら雪として、あつた者には下駄をかへし、次に皆に目をつぶらせて残りの下駄をかくし、合図で目をあけさせて片足で飛び乍らその下駄をさがさせる。見出しかねて困つてゐるとAはIIの歌を歌ふ、Bの中で「かぎ」といったものに隠した下駄を出して

「首夏」 甕の頭の竹葉は春を経て熟す

階の底の薔薇は夏に入つて開く

(和漢朗詠集)日本古典文学大系 岩波書店刊

甕頭は酒をかもせる甕のほとりなり。竹葉は酒の一名なり。句の意は、去年の冬より醸し、甕の酒は春を経て熟し、階の下の薔薇は夏となりて開きたりとなり。

(和漢朗詠集考証)柿村重松著 藝林舎刊

朗詠の旋律

二星 (七夕)

原調は五声のへ音記号でま1線。多くの人に  
読みやすくし音記号に変え、リズムを上げた。

芝 節余編『五線譜による和漢朗詠』  
巻一 歌謡より 楽譜改編 尾原昭夫

じ せい た ま た ま  
あ  
以下略

橋の下の菖蒲

広島高等師範学校附属小学校音楽部編  
『続日本童謡民謡曲集』より  
島根県浜田市地方 田中賢二郎採譜

わらべうた  
ぞうりきんぼ きんぼ はしのしたのしょうぶが  
さいたかさかぬかまださきそろわん  
みようみようくるまをてにとつてみたら  
ひごろくまごろく いさみのじゅうべえ  
かぎか じょうか かぎなら だしちやろ

## 朗詠の旋律

『和漢朗詠集』は平安中期、寛弘九年(一〇一一)頃成立の藤原公任撰になる和漢の詩歌集で、名のごとく朗詠に供された。貴族社会で愛唱され、「平家物語」を語る平曲や謡曲にも影響を与えたとされる。では、朗詠の旋律とはどのようなものであったか、その一例を楽譜で見ただこう。楽譜「二星」(七夕)冒頭部分も『和漢朗詠集』に載る朗詠のひとつ。

この詩を紫式部が『源氏物語』賢木で「はしのもとさうび、けしきばかりさきて春秋の花ざかりよりもしめやかにをかしき程なるに」などと用いるほか、『枕草子』『栄花物語』『源平盛衰記』などにも用例があるほどに愛吟・愛唱されたのである。

やるといふ様にして遊ぶのである。(田中賢二郎)

じつはこの「橋の下の菖蒲」ほどに、大人にも子どもにもさまざまな形で愛唱・伝承され、千年もの永きにわたる、数奇な変遷をたどり多くの記録をもつといった歌謡も少ないので、ここに許す限りの範囲でその概要をたどっておきたい。

その淵源は遠く中国、唐の詩文集『白氏文集』に発する。著者は有名な詩人で、白楽天としても知られる白居易(七七二～八四六)。それを平安時代に入唐僧がわが国にもち帰り、貴族階級を中心広く愛読される所となるや、当時の文学にも影響を与え、やがて節づけられて朗詠としても歌われる。次がその『白氏文集』と『和漢朗詠集』の当該箇所の一節である。

甕頭竹葉経春熟 甕頭の竹葉 春を経て熟し、  
階底薔薇入夏入開 階底の薔薇 夏に入りて開く。  
(通訳)甕の中の竹葉酒は春を経て程好く熟し、階前の薔薇は夏になって勢いよく咲いた。

(新約漢文大系『白氏文集』岡村繁著 明治書院刊)

二星たまたま逢へり いまだ別緒依々の恨を叙べざるに 五更まきに明けなむとす 頻に涼風颯々の声に驚く 美材

「現代語訳」恋人同士の一つの星が年に一度逢つて、まだ、去年別れて以来のつらさをのべ終らないうちに、もう夜明けの時刻になります。朝の涼しい風がさわわとしきりにそよぎ出して、はや夜明けよとおどろくのです。

(和漢朗詠集)川口久雄全訳注 講談社学術文庫

冒頭のみとはいえ、じつに複雑な装飾のリズムと音程で、朗詠がきわめて芸術性の高い歌謡であったことがわかる。これには笙・竜笛・箏の三管の伴奏もつけられた。

## 「階底の薔薇」から「橋の下の菖蒲」へ

「階の底の薔薇」として愛唱された朗詠の歌詞は、やがて庶民の口にも広がり、いつしか唐音の「ショウビ」(バラ)が身近な「ショウブ」にとりちがえられて「橋の下の菖蒲」となり、さらに以下の歌詞も自然に変化して伝承におけるさまざまな転訛が生じた。次は江戸初期元和七年(一六二二)成、林羅山著『徒然草野槌(つれづれぐさのづち)』の記述。

注 適宜句読点を施した。「謡歌」はワザウタ。多く「童謡」と書く。  
時の風刺をふくむ民衆のはやり唄。

俗間に伝る頼朝の時鎌倉の謡歌に、

一りげんちやう二けんちやう三りけんしやう四けんしやう、  
しこのはこの上には多もはもととり、十方鴨豆なかえたよ、黒蟲は源太よ、あめ牛めくらが杖つみてとほるところ、それはそこへつんのけ。

是は鎌倉の町わりの一間町二間町など云義也。しこのはことは、厠にひさしく居をいふ。此時局の女房君の寵有しか、かく有しと也。ゑもはもととりとは、右衛門八と云者、君の氣にいりて鳥をとる



草履隠し  
石川豊雅画 風流十二月 江戸後期

草履隠し

歌川芳幾画 智恵競幼稚双六より



『拾権雑話』宝曆七年（一七五七）序 若狭小浜 木崎愴窓著より  
今子供集りとらまへ子せんとて遊ぶ事あり。五七人十人の子供あなたこなたへ逃げ廻るを、一人は捕へんとて廻る。捕へられたる者また捕ゆる者となる。せんぐりにかくの如し。最初捕まへ人になるものを定むる時、子供円居して、一人左の詞を云、手にて一人く、押へ廻り、詞の終りにあたりたる者捕まゆるものとする事なり。その詞に、「橋の下の菖蒲は茹れどもかられず、御台どの台どの、台が娘、梶原源八、すけどの、よいやうに頼まする。」



草履蒔き

明治 日本全国児童遊戯法

『古今童謡』享保一七年（一七三二）頃成 鳥取藩土野間義学「筆のかす」写本より。  
橋の下の菖蒲は、誰が植へた菖蒲ぞ、じたい殿、たいどの、たいが娘、梶原。  
今はこの句のみを云へり。（中略）「武林隠見録」第三の巻に林道春と云ふ者、正保二年西正月十九日、大猷公の御前にて被召て、御側衆段々道春に尋問はれける内に、堀田加賀守尋て曰く、童部共の遊びに、子共を集、左右の手を寄てかぞへ、鬼の皿といふ事をする、その計へ詞に、たい殿く、たいが娘は梶原、あめうし盲が杖を突て通る所を、さらばよつて終のけと云。これもまた故ある事にやと問。道春答て、是は鎌倉右大将頼朝卿の御時、御意に叶ひ出頭し、威を振ひたる人を計へ立る事なり。  
注「武林隠見録」享保三年（一七七八）序 齊東野人著。

『拾権雑話』宝曆七年（一七五七）序 若狭小浜 木崎愴窓著より

近世の伝承記録を追って

『古今童謡』享保一七年（一七三二）頃成 鳥取藩土野間義学「筆のかす」写本より。

橋の下の菖蒲は、誰が植へた菖蒲ぞ、じたい殿、たいどの、たいが娘、梶原。

なり。十方をありきて鴨をとり、豆を彘にする也。豆がなくては餌よといふ義也。くろむしは、からすぐちなはの事也。源太是をとりてくろやきにし、君へ進する也。あめうし目くらとは、是も時の威勢あるもの盲目なり、そのありくを人々恐れてあたりをのけといふ義也。  
又此時の俗歌に、  
橋の下の菖蒲は折どもおられず、かれどもかられず、伊東殿土肥殿、土肥がむすめ梶原源八、介殿のけ太郎殿。  
是は蒲御曹子の御連枝なれど、よはきにもつよきにも、何の用にたち給はぬを、菖蒲のおれどもおられずといふ也。其外、伊東殿より下は、時の大名権柄の人にて、もてあつかふたりといふ心なり。又一説に上の歌は、最明寺の時の事也。あめ牛は最明寺を申也とも云伝たり。  
「鎌倉の謡歌」と称するこれらの童謡の歌詞が、じつは室町時代の芸能へ狂言へ、さらには子どもへ草履蹴りの唄へや草履かくしの唄へにまでうたわれて、江戸時代を経て現代に至るまで、延々と伝承され全国に広がりを見せていくこととなったのである。

狂言の祈り文句

次に、狂言における祈り文句を、比較的時代の古いものから選んで二例ほどあげる。  
要するに、元の唐詩が朗詠としてうたいつがれていくうちに、時代とともにだんだんに元の歌意が失われ、歌詞も変化して意味が通じなくなっていく。その意味不明なるがゆえにこそ子どもたちが草履蹴りや草履かくしの鬼決めなどの遊戯唄としてうたうこととなるとともに、狂言の世界にまで取り込まれ、えせ山伏の祈り文句として採られることとなったと考えられる。それは現行の子どもたちが唱える物選の「どれにしようかな、

天の神様のいうとおりに  
などとも通じる、祈りの文句にほかならない。



狂言「犬山伏」

「狂言記拾遺」和泉流 元禄 狂言全集

『天正狂言本』天正六年（一五七八）成 狂言「ふくろふ」よりの一節。  
橋の下のしやうぶはたがうへそめし、いち殿二い殿三み殿、四殿五いりまめに六ちさう、はらかふくくや、

『大藏虎明本 狂言集』寛永一九年（一六四二）成 狂言「犬山伏」よりの一節。  
（あらずじ）坊さんがなじみの茶屋でお茶を飲んでるところへ、空威張りのえせ山伏が登場し、背負う笈（おい）についている肩箱を坊さんに持たせようとする。茶屋は一計を案じ自分が飼う猛犬をつれだし、両者に祈り比べをさせ、犬がなつか、噛みつかうとするかを決めることに。坊さんが経文で祈ると犬はなつき、山伏がいんちきの祈り文句で祈ると犬が噛みつかうとして勝負がつく。

（出家）是は此あたりちかき寺の住持にて御ざ有、（中略）此さきに茶屋が有、（中略）まづちやをこしめせ（中略）（山伏）かい（ほら貝）をももたぬ山ぶしが、く、みちくうそふかふよ  
是は出羽のはぐるさんの山伏でござる、（中略）いろはにはほへとちりぬるをわか、はしの下のしやうぶは、たがうへたしやうぶぞ、おれどもおられず

「アレサ そこで見てみちやアずるいわな あっちへ行つてみなくっちゃ おいらアイやだく」

『皇都午睡』江戸後期文化年間（一八〇四〜一八）頃 西沢一鳳著より

予幼年の頃、浪華にも此童謡を専ら誦ひし事有。其時の文に、「木杭隠し九年母、橋の下の菖蒲刈れども刈れぬ、たい殿 鯛の虫は軽業、味噌ちつくり酒ちつくり、呑でもお腹はたちやぬなや。」

『諺苑』寛政九年（一七九七）序 太田全斎著より

「橋ノ下ノ菖蒲ハ、サイタサカナカ、マダサキノソロハヌ、メウク車ガ、ヒドロクマドロク、三六十。」

『童謡集』文政三年（一八二〇）成 釈行智編より

鬼わたし 草履まきに二ツ残りたる時勝負わけの唄に、へ草履（ジャウリ）きんじよくく。おじよんまじよんま。はしの下の菖蒲は。咲いたか咲かぬかまだ咲かぬ。みやうく車を手にて取て見たれば。しどろくもどろく十さぶろくよ。

# 韓国にて

「親子心中」国際シンポジウム

子どもの虹情報研修センター 川崎 二三彦

## 突然のメール

「センター長宛てに、韓国から英文のメールが来ていますよ」

「えっ、どういうこと？」

「国際シンポジウムを企画しているので、登壇してほしいって書いてあります」

発信元はセーブ・ザ・チルドレン・ 코리아。シンポジウムのテーマは、いわゆる「親子心中」らしい。だとしたら、4年間に渡って本問題について研究し、福村出版から『虐待「親子心中」も上梓した私としても黙ってはいられない。ただ、日程が間に迫っている上、問題があった。

「国際シンポジウムということですが、私は韓国語も英語も話せません。大丈夫ですか」

こんな内容を、Googleを使って韓国語に翻訳して返信した。相手も同じ方法を用い、今度は日本語のメールが返ってきた。

「心配には及びません。ちゃんと通訳者を配置しますので、是非お越し下さい」

## 国際シンポジウム

それにしても、「親子心中」をテーマにした国際シンポジウムが開催されるということ自体が、私には驚きだった。かつて日本では、「親子心中」は日本独自のことで、海外では見られないといった俗論があった。それが誤謬だということは知っていたが、今回、オーストラリア、カナダ、ドイツ、そして日本から私が参加した国際シンポジウムが開かれたのである。

日本でも、「親子心中」は決して少なくない。厚生労働省が設置している専門委員会が公表しているデータによると、2020年度の子どもの虐待死77人のうち心中による死亡は28人、全体の約36%を占めている。そのため、事件にかかわってメディアから取材を受けた経験が私にもあるが、結果として報道されなかったことも珍しくない。保護者が精神的な不調を抱えている場合は扱っても慎重になるだろうし、保護者も死亡していれば、「死者に鞭打たない」「過去は水に流す」という日本の風潮からか、事件を大きく取り上げることがはばかれるのかもしれない。

一方、韓国は儒教道徳の影響もあって、もともと「真相究明」や「過去を正す」ことへの意識が強いと言われており、日韓のそうした文化的背景の違いが反映している可能性も考えられよう。

## 「子ども殺害後自殺」

それはさておき、会場が議員会館で、国会議員も参加していると聞いて驚いた。加えて、シンポジウムには政府から児童虐待対策、自殺対策の担当者や、警察関係者がシンポジストとして

急ぎ発言の準備に取りかかることにしたのであった。

## 韓国の「一家心中」事件

それにしても、どうして私宛てに、突然メールが届いたのか。思い当たるのは、昨年7月、韓国の民放テレビ局SBSから取材を受けていたことだ。取材直前の6月末、韓国では次のような事件が発生していた。

小学5年の女兒とその両親の3人が乗った乗用車が海中から発見され、全員の死亡が確認されたというのである。韓国では、「校外体験学習」という制度があって、最大約2か月間、欠席扱いされずに学校を休むことができるという。亡くなった女兒も本制度を利用していただけだが、当該期間が過ぎても登校せず、一家全員の行方がわからなくなっていた。家庭状況を調べていくと、父は自営業をやめ、家賃やカードの支払いが滞り、母もパニック障害や不眠で投薬を続けてい

韓国の国会議事堂。  
右は敷地内の議員会館(シンポジウム会場)



参加し、  
こもごも  
現状や課  
題につい  
て発言も  
した。

韓国では、本年3月にもインチョン(仁川)で一家5人が遺体で発見される事件があり、2021年に児童虐待によって死亡した40人のうち、14人が「心中」事例というから、比率的には日本とほぼ同じだ。こうしたなか、「いくら親であっても子どもの命を断つ行為は明らか殺人であり、最も極端な形態の児童虐待である」との認識が深まり、長らく使用されていた「同伴自殺」という表現を改め、「子ども殺害後自殺」と呼ぶようにしているという。こうした用語が浸透していくならば、社会の認識も変化し、事件を防止する上でも役立つのではないだろうか。

翻って、日本でも同様の問題意識から、「親子自殺」など種々の表現が提起されてきたが、「心中」という便利な表現があるせい、新しい用語が流布することはなく、「親子心中」が児童虐待であるという認識も浸透している



シンポジウムで発言する筆者  
(横は通訳者)

カメラを丹念に追った結果、ようやく3人の遺体が発見されたのであった。

こうした事件を、韓国では従来「同伴自殺」と呼んでいたが、「子どもにも罪はない」「これは児童虐待だ」といった声を持ち上がり、さらには「政府の経済政策の失敗だ」とする批判も出され、社会的に大きな反響を呼んでいたのである。

「日本にもこうした事件があると聞いています。実情はどうなっているのでしょうか。また、日本ではどんな対策をしているのでしょうか」取材ではこんな質問が出され、カメラの前で話した内容が、韓国でオンエアされていた。

は言い難い。用語の問題を含めて、韓国の取り組みから学ぶ点は多いと感じた次第である。

## セーブ・ザ・チルドレン・ 코리아

シンポジウムでは、「親子心中」に関する日本の現状と課題について発言した。最後は登壇者全員が壇上で握り拳を突き上げ、今後の取り組みを強めることを誓って終了した。

翌日、今回の主催団体であるセーブ・ザ・チルドレン・ 코리아本部を訪ねた。日本における児童虐待対策の歴史などについてレクチャーし、たくさんの質問を受けた。

「あつという間に時間が来てしまいました。これを訊かないと今夜は寝られないという方がいたら手を挙げてください」

偶然かどうか、このときの参加者は全員が女性。彼女たちの熱心に舌を巻いた。

セーブ・ザ・チルドレン・ 코리아の  
スタッフとともに記念撮影



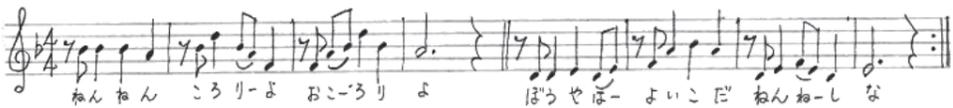
# 第6回 「坊やはよい子だ」 (東京都江東区・台東区)

ねんねんころりよ おころりよ  
坊やはよい子だ ねんねしな  
坊やお守りは どこ行った  
あの山越えて 里へ行った  
里のおみやに なにもろた  
でんでん太鼓に 笙の笛  
坊やはよい子だ ねんねしな

「江戸の子守唄」とも呼ばれる、おそらく日本で一番有名な伝承の子守唄です。ここには、尾原昭夫『日本子守唄集成』(柳原出版、二〇一三年)に収められた、江東区佐賀の明治四一(一九〇八)年生まれの方が歌い、尾原氏が採譜したものを載せました(九二九三頁)。

この唄がいつどこで誰によって作られ、最初に歌われたのか、そしてどのように伝わっていったのかは分かっていません。記録として残る歌詞としてこれに近いものが、江戸浅草の覚畔院住職・釈行智による文政三(一八二〇)年成立の『童謡集』に収められています。「ねんねんころりよ、ねんねのおもりはどーこいたア、やーまをこーえてさー」といて、さーとの御みやになにもろたー、でんく太鼓に笙のふえー、おきあがりこほしにふりづーみー。」(※原本では「」は「引」の字。)

この百年あまり前の正徳四(一七一四)年、上方で初演された近松門左衛門作の浄瑠璃『天神記』に、「寝んねこせ寝んねこせ(略)神様の土産には でんでん太鼓に笙の笛」と、子守唄の一部として断片的に用いられています。一方、行智の『童謡集』とほぼ同時期の文政一(一一二



(一八二八―一八二九)年頃、尾張藩士・朝岡露竹斎が著した『子ども歌・手まり歌』にも、「ねんねんよころころよ ねんねがもりはどこいた あん山越へて里へいた 里のみやげに何もろふた でんでん太鼓に笙の笛」の詞章が見られます。行智の生まれたのが安永八(一七七八)

年であることを考えると、この子守唄の前身となるものが、旋律はさておき、一八世紀はじめに上方で歌われており、一八世紀末頃までには江戸や尾張でも歌われるようになったと推測することができます。

これに関連して、江戸中期の宝暦・明和年間(一七五一―一七一)に、江戸の本所深川あたりから広まったとする説(西館好子『子守唄の謎』祥伝社、二〇〇四年)や、徳川家康の江戸入りの際に同行した三河・岡崎地方の家臣とその家族が歌った子守唄を祖形として誕生したとする説(宮内仁『日本の子守唄』近代文芸社、一九九九年)などがありますが、確証はありません。ただし、江戸を中心に開花したとされる都節音階と呼ばれる旋律を持つ「ファ・ファ・ミ・ファ・ラ・ファ・ミ・ド・ミ・ラ・ファ・ミ」という単純かつ優雅な響きを持つこの唄に多くの人がびとが魅了され、大名の参勤交代や商人の往来、参詣・見物の旅、地方巡業の芸能者など、さまざまな形の文化交流を背景にして全国各地に広まったことは間違いありません。

そして、この同じ旋律を用いて、別の内容で物語になったものが数多



く歌われているのも特筆されます。その中から五つ紹介します。

● 坊やはよい子だ ねんねしな この子の可愛さ 限りなき 天にのぼれば 星の数 七里が浜では 砂の数 山では木の数 萱の数 沼津へ下れば 千本松 千本松原 小松原 松葉の数より まだかわいねんねんころりよ おころりよ (静岡)

● ねんねんねこのけつへ かにがはいこんだ かにだと思つたら 毛虫だ 毛虫や毛だらけ穴だらけ おまえのおけつはくそだらけ (東京)

● こんこん小山の子兔は なぜにお耳が長うござる おつ母ちゃんのおぼんぼにいた時に 長い木の葉を食べたゆえ それでお耳が長うござる (佐賀)

● 柴の折戸の賤が家に 翁と媪が住まいけり 翁は山へ柴刈りに 媪は川へ衣すすぎ 日ごと夜ごとの世渡りも いとあさましき 五十鈴川 流れ流れる 源に 流れ来たれる 桃の実の(後略) (岩手) ― 昔話「桃太郎」を下敷きにした物語唄。

● 隣家人と自家人と 旅僧 殺すと云するぞ 草の冠 取り捨てて山と山とを重ぬべし (岩手) ― 「子守唄内通」と呼ばれる昔話の中の挿入歌。歌意は以下の通り。隣の人と我が家の人が、旅の僧を殺すと云っている。草からくさかんむりを取り(「早」という字になる)、山と山を重ねなさい(「出」という字になる)。合わせて「早く出ていきなさい」との意味になる。

こうして、「坊やはよい子だ」と同じ旋律に乗せていくつもの物語子守唄が歌われ、幼い子どもを喜ばせ、また眠りへとやさくなっていきました。のみならず、芝居や昔話の中でも歌われて、子どもや大人も楽しませてきたのです。

今年(二〇二二)六月ははじめの日曜日、西館好子さんに案内していただき、かつて覚畔院があった、台東区の銀杏岡八幡神社を訪ねまし

た。JR総武線の浅草橋駅東口改札から高架を下りて、北へ向かって五分ほど歩いたところにあります。入口のところに、「子守唄と銀杏岡八幡神社」と題した看板があり、ここが「子守唄」にゆかりの地だということが分かりますが、歌碑や銅像などはなく、行智や『童謡集』に関する冊子やパンフレット類も社務所にはありませんでした。この日はちょうど月例祭で、参道に露店が三つ四つ軒を連ね、また国指定重要無形文化財の江戸里神楽の笛や太鼓の音曲が披露されており、江戸情緒を味わうことができましたが、普段はひっそりと静まっているようなたたずまいでした。周辺の商店街も、日曜日にもかかわらず多くの店がシャッターを下ろしており、町の賑わいや活気を失くしている感じを受けました。

享保一七(一七三二)年成立とされる所在不明の鳥取藩士・野間義学編『筆のかす』を除けば、現存する子守唄やわらべうたの集成として最も古いのが『童謡集』です。西館さんによれば、上野・寛永寺のご住職が、行智の経歴や『童謡集』の意義について調査研究をしておられますが、まとめ上げるには至っていないようです。

私どもの「こもりうた・わらべうた学会」でもご協力やご支援をさせていただいて、ぜひ実現されることを願うとともに、例えば『童謡集』に紹介された子守唄やわらべうたや遊びを、近隣の子どもたちと一緒に歌って遊んでみるイベントを企画するなど、コミュニティづくりや地域おこしのプロジェクトへと展開されていくことを夢みるものです。



帯津

帯津良一

# 医者冥利に尽きる

## 感動物語



がん治療の現場に身を置いて、62年目に入りました。いまだに現役の医師を自負しています。これまでどのくらいの数の患者さんとお付き合いをしたか、とても数え切れるものではありませんが、最近、自分の人生観なり死生観に基づいて、病と真摯に向き合う患者さんが増えて来ました。こちらが年を取って感じやすくなったためかもしれません、感動すること頻りといったところです。

昨日も43歳の乳がんの患者さんが専門病院の紹介状を持ってやって来ました。紹介状によると、右のC領域の乳がんが大きさは25×25ミリ。右の腋窩にも小さいながらも転移とおぼしきリンパ節腫脹をみとめます。そこでまず抗がん剤の治療をしてから手術という治療方針を提案したところ

「まずは帯津先生に相談したい」と言いますので、宜しく願いますとあります。

色白のすばらしい美人です。ご主人さんと10歳の娘さんと三人暮らしのことです。胸部X-P、乳腺と腹部の超音波検査、血液検査を合

めた診察の結果、右、C領域の乳がん。大きさは30×30ミリ。主腫瘍の周囲に数箇の娘腫瘍あり、右腋窩のリンパ節転移も増大。遠隔転移無し。という診断です。

そこで私は彼女に言いました。

「あなたは43歳とまだ若い。娘さんも10歳。あと40年は生きたいところです。だから、抗がん剤治療のあと手術という、あちらの病院の治療方針は正しいと思います。」と。彼女は表情を変えず、私を見つめたまま、

「……でも、腋窩のリンパ節を郭清したために術後、腕がリンパ浮腫のためにばんばんに腫れ上がった人や、抗がん剤のための脱毛に苦しむ人を見て来ました。だから手術も抗がん剤もやりたくないのです。」と言います。



2017年9月、本院を受診されました。何分高齢のため、できるだけご本人の負担にならない方法ということで、通院にて、

1 レンチンプラス1000を一日2包

2 ホメオパシー

を開始しました。

レンチンプラスは米糠を原料とする、免疫力を高めるためのサプリメント

ホメオパシーはドイツのS・ハーネマンによって体系化されたエネルギー医学です。血尿、食欲不振などの症状を軽減してQOLの向上をはかる目的です。

血尿に対する処方は一貫してフォスフォラス(白燐)とハメリリス(アメリカマンサク)

食欲不振にはヌックス・ヴォミカ(マチン)といったところでしょうか。

2019年2月 ヘモグロビン6.4と貧血が著しいため、入院にて輸血。

2019年8月 血尿、頻尿、嘔気のため入院するも輸血は施行せず、2020年2月ヘモグロビン6.6。入院にて輸血。

その後はヘモグロビンが6台になるような激しい血尿は一度も起こらず、食欲も増進して、1カ月毎の外来も、いつもお孫さんの娘さんの押す車椅子に乗って現れるのですが、いつも満面の笑みを浮かべて、

「変わりありません！」と大声で唱えています。

腹部の触診をしますと左上腹部に固くて大きな腫瘍を触れるのですが、まったく痛みもなく、レンチンプラスの効果とひそかに感謝を捧

そこで、

「ご主人さんには相談したのですか」と問うと、「はい、もちろんです。主人はお前の好きなようにしなさいと言います」と。そして、

「そこで、西洋医学以外で、がんが治せるという方法をしらべてみました。……こんなにあるんですよ」

と、食事療法やらサプリメントやら20種類を超える民間療法を書き抜いた紙を見せるではありませんか。

そこで、1997年。スピリチュアル・ヒーリングの2回目の研修のために訪れたロンドンのロイヤル・ロンドン・ホメオパシー・ホスピタルの情景が蘇って来たのです。ここで、長いことがん治療のヘッドを務めてきたアン・クローバー先生にお会いしたのです。先生は来月に定年退職をされると言います。

そこで、咄嗟に彼女に訊ねてみたのです。

「定年退職を前に、いま胸中を去来するものは？」

と。彼女は、

「……そうですかねえ！」と少しためらったあと、

「……がんほどミステリアスなものはありませんねえ……、だから治療のためには何をやってもいいのですよ……」

と来たものです。長い間、大英帝国の代替療法によるがん治療をリードして来た医師の言葉です。ずしんと胸を打たれたものでした。

この情景を思い出しながら彼女に言いました。「主人公はあなたご自身です。だから最終的には治療法はご自分で決めて下さい。あなたがどのような治療法を選ぼうと、私たちはそれに合わせてお手伝いします。」

それにしてもあなたは若いしお子さんも小さい。だから私としては抗がん剤と手術を捨てきれないのですよ。

だから、今日の話を踏まえて、もう一週間、ご主人さんと二人で治療法について考えてみてくださいませんか。どのような結論がでようと全力でお手伝いしますからご安心下さい。」

と。彼女は初めてにっこり笑い、一週間後の来院を予約して帰って行きました。

彼女が診察室を出て行くや否や、なつかしき患者さんの誰かが走馬灯のように次々と現れたものです。まずは、

92歳(発病時)の左腎臓がんの女性です。経過を申し上げますと

2017年6月。血尿。おどろいて近医を受診すると左腎臓がんの診断。紹介された専門病院で手術あるいは放射線治療をすすめられましたが、ご本人はいずれも希望せず、

「……そうですかねえ！」と少しためらったあと、彼女が友人の文章家で、以前から新聞や雑誌への投稿を楽しんでいたように、この習慣は病になっても衰えず、いつも讃嘆の念をもって迎えています。

そして、なんとといっても今年で98歳。車椅子でこそあれ、認知症などの心配はさらさらなく、90歳を超えてのQOLの高い6年間はすばらしいの一言です。このように長い間、医者をやっていると、患者さんの病のなかにあつての生様に感動すること頻りです。医者冥利に尽きるとはこのことです。

ただ、不思議なこと



### 帯津良一 プロフィール

1936年、埼玉県川越市に生まれる。東京大学医学部卒業、医学博士。東大医学部第三外科に入局し、その後都立駒込病院外科医長を経て1982年、川越市に帯津三敬病院を設立。2004年には、池袋に統合医学の拠点、帯津三敬塾クリニックを開設。  
日本ホリスティック医学協会名誉会長。著書に「代替療法はなぜ効くのか?」「健康問答」など。その数は100冊を超える。

# 存在する理由と意味



南無庵 庵主 山根 光恵  
山口県長門市出身  
浄土真宗本願寺派 布教使

オオキンケイギク  
どこから来たの？



地で見つけた時は、必ず根から土と一緒に取って、土ごとビニール袋に入れて生ごみとしてごみ出ししてください、というアナ

コロナは完全に終息した訳ではないが、感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」に移した。行動制限を求められることもなくなり、マスクの着用などの感染対策も個人の判断に委ねられるなど、様々なことが緩和された。

これまでは外出時など、うっかりマスクを忘れたことに気付く、コンビニで買おうと思っても、「コンビニへマスクなしで入るのはまずい」と慌てて家に引き返す…なんてことが何度もあった。そこで車の中はもちろん、バッグの中、玄関のドアの内側、いたるところにマスクを置いておき、外出の際は出発時に「財布よし」、「家の鍵よし」、「携帯よし」に加えて「マスクよし」と自分で掛け声を掛け、マスクの確認をだけだけしたことか。外出中、突然知人に会って「あつ、私マスクをしてない」と思いバッグの中のマスクに手を伸ばした瞬間、マスクがあごに掛かっていることに気付くなど、マスクにまつわる恥ずかしい話は山のようにある。

ただまだ油断はできないぞという気持ちがある。コロナ、コロナで振り回された三年半であったが、この頃は、外国からの観光客の入境規制が弱まったとたん、この直島も外国からのお客さんが驚くほど増えた。フェリーも外国人でいっぱい。ホテルも民宿も満室とのことで、街にとってはうれし悲鳴だろう。

コロナウイルスは目に見えない得体のしれないものだったが、最近はある「目に見える変化」に、不安を感じることがある。

近年は、直島でも春になると、昔からの雑草とは違う種類の草がはびこってきていることに気付く。昔からの草が生えていた空き地に、黄色いコスモスのような花が、いたるところに咲き乱れているのだ。最初のうちは、誰かが植えたのかな？きれいだな、ぐらいいに思っていたら、何とそれは「オオキンケイギク」という特定外来生物に指定された植物。現在、日本では栽培、移動、販売が禁止されているものであるようだ。黄色くてコスモスによく似た愛らしい花だが、ものすごい繁殖力で空き地のいたるところに繁殖している。住宅

コロナの影響もあって、最近では家でテレビを観る時間が増えた。近頃は、四月から始まったNHKの朝ドラ『らんまん』を熱心に観ている。その中の主人公の台詞で、「雑草という草はありません、どんな草もそこに生える理由があり、意味があるのです」というセリフがあり、その言葉が、私の胸に響いた。

あつという間に島中を黄色に染めたオオキンケイギクは、どこから来たのだろうか？ここに生える訳があったのだろうか？その意味は何だったのだろうか？それを聞いてみたい。世界中の人は恐怖に陥れたコロナウイルスにも、何か理由があったのだろうか？今こそ、その意味を知りたいと切に思う。

合掌

## 唄のページ

### 『唱歌』

#### 人形

わたしの人形はよい人形  
目はぱっちりと色白で  
小さいくちもと愛らしい  
わたしの人形はよい人形  
わたしの人形はよい人形  
うたをうたえばむねねして  
ひとりでおいても泣きません  
わたしの人形はよい人形

#### かかし

やまだの中の 一本足のかかし  
天気の良いのに みの笠つけて  
朝から晩まで ただ立ちどおし  
あるけにいのか やまだのかかし  
やまだの中の 一本足のかかし  
弓矢でおどして りきんでみても  
やまだはカラスが カアカとわらう  
耳がないのか やまだのかかし

#### かたつむり

でんでんむしむし  
かたつむり  
お前のあたまはどこにある  
つのだせ やりだせ あたま出せ  
でんでんむしむし  
かたつむり  
お前のめだまはどこにある  
つのだせ やりだせ めだまだせ

#### ほたる

ホーホー ほたるこい  
あっちの水は にがいぞ  
ホーホー蛍こい

#### 仔馬

はいしはいし あゆめよ仔馬  
山でも坂でも ずんずん進め  
お前がすすめばわたしも進む  
歩めよ歩めよ 足音高く  
ばかばかばかばか はしれよ仔馬  
けれども急いで つまづくまいぞ  
走れよ走れよ 転ばぬように

### 「子守唄・スマホを切って」

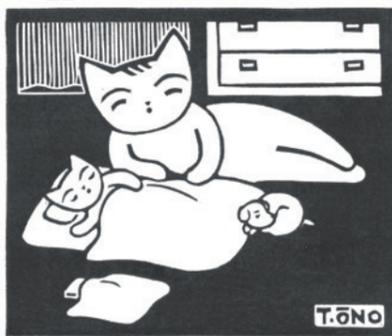
2023.4.11 大野隆二 詞

1 ねんね ねんね  
猫の子 ねんね  
犬の子 ねんね  
赤ちゃん ねんね  
ママと ねんね

2 勇気を出して  
スマホを切って  
切ったスマホも  
いっしょにねんね  
ねんね

3 だつてこの今  
ねんねの時間  
ねんね ねんね  
誰のものでも  
ないこの時間

4 ねんね ねんね  
赤ちゃん ねんね  
ママも ねんね



T.ONO

【インタビュー】

株式会社アポロ・サンズHD 代表取締役会長

三浦 真澄

# 地元からいただいた愛のお返し

「子供のころ、私の父は遊び人で、まあ、昔の男の人、母は苦労したと思いますが、私はそんなことに頓着なく、というのも町の人たちの温かい環境の中で育ったせいだと思います。」

「ご飯を食べさせてくれたり、お風呂に連れて行ってくれたり、泊まらせてくれたり、とりわけ下町のおじいちゃんおばあちゃんは何くれとなく見守り世話をしてくれましたから寂しいとかつらいとか感じたことはありませんでした。本当に楽しい子供時代を送ったと思います。私、町のみんなから真澄なので「まっちゃん」とよばれていました。何年か過ぎ、そのおばあさんやおじいさんがある日ある時なくなってしまう。当時、認知症などという言葉もありませんでしたから、多分お家で見られなくなったとき、地方の施設に入れられていたのだと思います。」

「老いて人格に変化が来ても介護という言葉もない時代でしたから、受け入れ先は精神科くらいだったのです。隔離生活は都心にはあまりなくて、閑静な田舎の施設に入れられてしまったのでしよう。」

「それは子供心に強烈なショック、地元でいたご老人たちは最後の最後まで自分の故郷で暮らし、なつかしさに包まれて老後を送ることができない。」

「だろうか、そうしてあげたいなあ、将来そんな仕事をしたいとずっと心に決めていました。」

「私は昭和27年の生まれ、戦後が落ち着いて女性たちの生き方も変わったといえ、まだまだ女性は家庭に入って子供を産んで、といったのが当然と思われていた時代です。」

「でも私の母は父に依存して生きていくことに疑問を持っていた。おそらく結婚生活にも満足はしていなかったのでしょう。」

「兄と弟の間の一人娘の私に「あなたは仕事をもちなさい」と言い続けていました。女の自立にむけて娘に夢を託したのかも。」

「母は私を栄養士にしたかったらしいのですが、私は大学の専攻で幼児教育を選び、幼稚園の教員になろうと思っていました。東京家政大学では樋口恵子さんが教授でいらして学ぶことは大きかったです。」

「ところが肝心の学校の月謝が払えません。仕方ないから病院のアルバイトをしました。そこが運命のわかれみちかしら。」

## ええ、ゲストさんが3名

「入居なさる皆様を私たちはゲストさんと呼びしています。オープンした時は3名しかゲストさんが来ませんでした。」

「まあ、おかげさまで一年で17名に増えましたが、これもスタッフのおかげ、正直地元根づくには地元の方たちに働いていただくのが最良という判断は正しかったと思います。」

「ケアといいますけれど、その地位は低すぎますし、資格ばかり問うて内容が伴わない、資格外のみなさまの仕事として雇い広く応援してほしい。」

「この仕事の基本は人として何をすべきか、のほはです。スタッフは大切な家族です。」

## 日本の介護の現状については

「確かに一にも二にも介護は大変です。どこでもそうですが、資格がなくてはだめ、認知症介護基礎研修を取らなくてはだめと規制があります。」

「また介護にはケアプランが必要。要介護度が高ければ高いほど介護保険が適用されるとあって、そのために記録やプランデータが何より優先されるケアマネージャの存在は大きいのですが、あまりなり手がいない。」

「現場から言えば介護度だけでは決まらないのがケアの実態です。ケアマネージャの判断に頼らざるを得ないとなると、なかなか生身の人間のこと、絶対という確信は得られないこともあります。」

「どんどん高齢者が増える今は、在宅、泊まり、デイケアとそれぞれ介護形態を分けていますが、国が奨励しているのは在宅介護傾向にあると思いま」

# 愛のお返し



「す。施設に入れれば税金が使われ国の負担がかかるとのものですから政策上そうせざるを得ないのしょうか。」

「いずれも認知症は個別に合わせて介護をしますが、完ぺきではないと思います。」

「手のかかる人を世話する側としては、一人一人の人間の尊厳をしっかりと認識しなければいけないと思います。」

「精神的にも破壊が起きることを家族の方たちもそっぽを向くわけにはいきません。」

「やがて老いて行く道、孤独死や虐待は増えている今、認知症の方との共生を考え、子供から高齢者まで誰もが認知症のお勉強をする時期が来ているのではないのでしょうか。」

「私は子供のころ育った町で老いてなお、元気にいてくださるおばあちゃんおじいちゃんたちの影を追いつつ、今も「まっちゃん」とよぶ声を聴きつつ暮らしています。」

## 振り返るとなにもおもしろいことありますか？

「まあ、好きなことをして今まで生きて来ましたが、老人ホームを作ろうという気持ちは最初から今も何も変わっていません。」

「季節感や行事もゲストさんと一緒にしていますし、人生の今日という一日を楽しく有意義に笑って送りたいと努めています。全くこの下町から動いたことがないのですが、たくさんの方との交流で豊かな気持ちになります。」

「これからも認知症の方たちの生活空間づくりや、症状緩和に役立つことを考えたり、寄り添いながら私自身が楽しく老いていくと思います。ゲストさんとスタッフに感謝です。」

## タンポポとバラの花

「夫はアルバイト先の病院の経営者の息子、まあ、恋をしました。」

「私は結婚後看護師の資格を取得し、夫に「病院で私を使ってみたら」とアピールしました。」

「夫の両親はできれば女医さんでも結婚してほしいと望んでいたようですが、その頃、夫の中では病院と介護施設の併設ができないだろうか、といった計画が進んでいたようです。」

「私は家庭の中に閉じこもらず外の世界を知りたくて、ボランティアで命の電話の相談員を10年していました。多くの方の悩みを聞き、また、地元のご老人たちの恩返しにも、地元での老人ホーム設立に力を注ごうと思いはじめました。」

「実際その計画が実現するのに二年かかりました。1996年、地元の葛飾区細田にサンハートという老人ホーム作り、その代表取締役役に就任しました。たった5名の仲間と一緒に出発でした。開設当時から、年齢・ジェンダー・国籍・介護経験関係なくいわゆる多様性を尊重してきました。現在540名のスタッフ平均年齢はなんと64才。25年前たった1人のフィリピン女性から今は8ヶ国80名近い外国の人々が働いてくれています。」

「夫ですか？、私とでなかったらきつとうまくいったのだと思います。」

「何か根本のところが変わっていたのでは・仲たがいするとか、いやになったとかではなく、例えて言えば夫は誕生日に百本のバラをくれる人、私は野に咲くタンポポのほうがいいなあ、といった価値観の違いでしょうか。結局それぞれお互いの道を選びました。」



三浦 真澄さん

## 三浦真澄さんのこと

「最初にお会いした時から私は三浦さんのファンでした。」

「施設を訪問した時、隅々まで心が行き届いた部屋に目がきました。小さな花たちのかざられたテーブル、壁の絵、どこの施設でもあるものに違いありませんが、働いている方たち、ゲストさんと呼ばれる認知症の皆様の顔に笑顔が絶えないことで隅々まで光が行き届いている明るさです。見るとウサギまでいて、実にのんびりおなかを出して寝ています。」

「家庭にあるやさしさと安堵感に、私も年取ったらここに入りたいと思いました。」

「「この街が好き」と三浦さんは言いました。「この人たちも好き」とかさねて言いました。」

「小さな体に大きな夢が今も膨らみ続けています。私はこんな施設を見たことはありません。皆様も一度見学がてら尋ねてみてはいかがでしょうか。」

西館 好子

# 「歌って笑って健康長寿！」

稲村なおこ

「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也」と申します。私が毎日、夢中で頑張った「歌のお姉さん」から早いもので35年が経ちました。今は、歌手活動の傍ら、大学院博士課程の3年生に在学中の私が、走馬灯のように想いだす光景のひとつは、読書好きの母が、いつも私に多くの本を読み聞かせてくれたことです。音楽以外興味を持てるものがなかった私が、大学院生として学府に戻ってきたことに一番驚いているのは、実は自分自身かもしれない。子育てしながらコンサート活動に明け暮れた30代。40代を迎えて「なぜ？」の気持ちがいっつか頭をよぎる様になりました。先輩歌手は、なぜ、元気なのか？10歳も20歳も、いいえ、もっと上の方たちも（最年長は初代歌のお姉さん・眞理ヨシコ先生です。84歳）衰えるどころか、年々表現力に磨きがかかっていることを目の前にして、「夢は生涯現役歌手」と呟やっていたけれど、果たして20年、30年後の私は、本当に歌手でいられるのかしら？と、不安な気持ちが頭をもたげることがありました。

そんな日々を追われた私が、疲れた体で家に帰ると、50年以上、都山流竹林軒の名の元、元気がいっばい楽しそうに尺八を続けている父、88歳がいつも迎えてくれました。父の毎日は、ラジカセットに始まり、NHK朝のテレビ小説は欠かさず視聴、そして、書き溜めている10年日記は一体、何冊目になったのでしょうか？最近、家事をこなしながら、週4日デイサービスに通う87歳の母（介護度1）も見守る父に、「疲れない

の？」と問うと「できる範囲のことだからストレスなしたよ」とさりりと回答。できる範囲とは言いながら、その前向きな向上心に触れるたびに、私は大きな励ましを受けたように感じます。そして、パソコン講座に通い、適度な運動量も保ちながら、自治会活動や地域の色々な活動にでいていく父を見て、元気の源とは何かを教えられないのです。そしてその父から、活動的なDNAを受け継いで、毎日元気いっばいでいられることに、大きな幸せを感じています。健康長寿を伸ばすためには、適度な運動や社会とのつながりが大切と言われます。そのために、地域包括ケアシステムという新しい取り組みが社会で動いているのですが、その「1等賞の見本」が、父として我が家を今も引っ張ってくれています。

私は大学院で、歌を歌う習慣がある人は、お口の機能を維持し、そして健康長寿を実現できるという仮説を実証するため、日々文献を調べ、学会でのネットワークを広げています。長く歌ってきた私からすれば、歌を歌えば笑顔で健康になれることは当然のこと。それを学術的に証明することが、今の私が取り組んでいることなのです。大学院生活も早くも5年目になりました。研究を始めたころは、バタカラ体操と言う口腔機能を維持するためのトレーニング法を紹介しても、周囲の反応は乏しかった。でも今は違います。お口の働きを維持することは、適切な栄養の確保につながり、筋力を維持し、心身健やかに生きるキーワードになるという認識が急速に拡大しました。既に何度もメディアで取り上げら

れるようになった社会の変化には驚かされます。歌手である私だからできる研究がある。多くの指導者と協力してくださるみなさんのお蔭で、私の研究も最終コーナーを回り、最後の直線にかかっています。研究成果を発信することで、私が自然体で実践してきた、「笑顔で仲間と楽しく歌うこと」のすばらしさを、もっと違う形で世の中に広めることができる。これこそが、私がずっと以前から頭の片隅にもっていたモヤモヤを吹き飛ばすことにつながると、今は確信しています。

現代は、ネット社会が発達して、一見便利な情報にあふれている様ですが、同時に、気持ちが閉塞して、鬱（うつ）傾向に陥る人達が多いのも事実。こんな時こそ、アナログ回帰！アナログ万歳！これからは多くの人達と集い、楽しく一緒に歌を歌うことを、人生の先輩達とともに実践していきたいです。

つい先日のお話。自称音痴の母が「なおちゃんに歌を教えてもらいたんだけど。」と初めて頼まれたことが、なんと鉄道唱歌！でした。デイサービスで替え歌にして歌っているとのこと、私が用意したCDを使って練習してくれたのです。私が幼少の頃、母から後押しをもらった音楽とのかかわりが、時を経て、今は母の健康長寿に役立っているとは、なんと幸せなことなのでしょう。

これからは生涯現役、楽しく歌って、皆様のお役に立つことができよう前進を重ねていきます。このたび、日本子守唄協会の新理事に就任いたしました。



## 事務局 Naoの日記

# 見守る器

車内通勤に1時間かけている私にとつては、人間ウォッチングができる唯一の時間が乗車中。先日吊革に手を伸ばそうか否か揺られていると、ドア付近にいる4人家族であるう、そのうちの一人、小学生に満たない男の子が車窓から景色を見ながら鼻歌を歌っていた。とても軽快に歌っている。揺られる私の体に合わせてリズムを取りたくなる程だ。暫くしたら、スマホを見ていた父親なる人が、「煩い！静かにしろ！遊びに連れて行かないぞー」と怒った。その子の母親なる人はスマホを触っている。お兄ちゃんらしき子は車窓を見ている。怒られた男の子は黙ってしまった。その場が急に沈黙した重たい空気に耐えられず、私は次の駅で下車し車内を変えた。常日頃その場の空気や人が悪く感じると車内を変えている習性の私はその子になにもしてやれなかった罪悪感があった。隣の車両内に移ると、英語を話している外国人の女性たちが笑いながら大きな声で話していた。とても楽しそうに。車両を変えただけなのにこんなにも空気が違うことに違和感を覚えた。たしかに、某外国人は、大きな声で止め処なく話しているのが聞こえてくると、耳障りであったりする。何故

なら、その国の方たちはいつも不愉快そうに話しているからだ。愉快爽快に話しているなら別であるが。一度、その国の子どもに注意したことがあった。たまたま飛び乗った車両内で、ゲーム機の音量が煩すぎて周りに座っている全員が不快そうな顔をしていたからだ。私は自分の右手の人差し指を口に持っていく「シーシー！」とジェスチャーで見せた。するとその子の両親に座っていた両親であるう人が頭を下げて音量を下げた。

ここは日本。日本人ならではの規律や秩序、その方で経験を身に付けてきた奥ゆかしさなど模範的な教育を受けてきた道徳や社会。世界では日本人の振舞いを高く評価されてきた。その一つがワールドカップ・WBCの観客たち。歓喜に共鳴し合うことは大人も子どもも関係ない。冒頭に戻るが、鼻歌を歌いながら車窓の景色を見ていた子どももの愉しみを奪っていくことは習ってはいない。今時中学生でも車内で楽しそうに話している。

かくいう私はというと…車内で我が子に話しかける時、声が大きいのか「もう少し静かに話せないか？」といわれる位、いつも興奮して話すらしい。家族間のコミュニケーションの取り方は難しいのであろうか。長らくシングルマザーではあるものの愉しむ我が子を見守れる位の器を持つのは、両親が揃っているファミリーでもできると思いたい。

## 活動報告

■「日本ららばい協会の名称を「日本子守唄協会」へ戻して活動すべく準備におわれました。

■配食は月二回、木曜日につつがなく実行されました。

■二組の親子が卒業。毎回お母さんと一緒にいらしていたみっちゃん、が葛飾から湘南の海の見えるところにお引越し！今度はひろいおうちなのよと嬉しそうに最後の配食に来ました。

■久しぶりの理事長の講演会、高知と杉並区で行われました。

■6月に発売される理事長著「日本の子守唄」の出版発表会が5月20日有楽町で行われました。小さな心温まるパーティーがあり、事務所からも6人出席しました。



## SNS情報も併せてご覧ください。



YouTube・日本子守唄協会



YouTube・女性村ねぎぼうず



Facebook



Twitter



Instagram



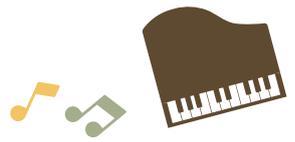
公式LINE

# 応援がしていただく方を

協会の活動にご協力くださいました皆様、ご寄付を有効に使わせて頂きます。これからも日本子守唄協会への応援をよろしくお願い申し上げます。温かなご支援を本当にありがとうございます。

2022年4月1日から2023年6月16日現在 五十首順 匿名希望8名

(敬称略)



## ご寄付の応援を お願いいたします！

日本子守唄協会の活動は、皆様からのご寄付に支えられております。すべての子ども達が希望に満ちた未来をつかめるよう、皆様のお気持ちの託された寄付金を、様々な活動にいかしてまいります。

ご寄付をいただきました皆様は小冊子「ららばい通信」、イベントのご案内、また活動報告をお送りさせていただきます。どうぞ時期や金額に関わらず、年間を通してご寄付をお願い申し上げます。ご寄付への詳細は、日本子守唄協会事務局までお問い合わせください。

### 【寄付振込先】

- みずほ銀行 浅草橋支店  
(普)1090012 トクヒ)日本ららばい協会
- 郵便振替口座 00150-3-575309

### 「個人」

- |        |       |       |          |
|--------|-------|-------|----------|
| 相川 厚   | 岡本喜久穂 | 沢田 敬  | 永田 亨     |
| 青戸雅之   | 小田紀美子 | 清水悦子  | 中谷比佐子    |
| 青山 司   | 尾原昭夫  | 白石源次郎 | 中根宏昭     |
| 秋山忠彌   | 帯津良一  | 菅佐原道夫 | 永見徳代     |
| 麻生 智   | 片山雅文  | 杉浦あい  | 中元修治     |
| 安倍昭恵   | 加藤和栄  | 杉野善彦  | 中山公子     |
| 阿部輝彦   | 門山榮作  | 祐川洋子  | 南部和彦     |
| 阿部敏昭   | 川北恭伸  | 須崎晃一  | 南部昌宏     |
| 綾乃緒ひびき | 川下則子  | 須藤 博  | 西尾まき     |
| 荒木智恵子  | 河原みさ子 | 素野 悟  | 西前幸子     |
| 蘭 日出哉  | 蒲原節子  | 高橋佳奈枝 | 則武清司・美佐子 |
| 飯田のり子  | 菊池弥生  | 高橋 寛  | 原田 勉     |
| 井坂義雄   | 木戸由加里 | 高松榮子  | 原田直之     |
| 磯部裕子   | 木下由美子 | 田中厚子  | 治田るり子    |
| 井田範子   | 木村康雄  | 田中安子  | 廣政真貴子    |
| 伊藤加津子  | 久世明子  | 棚澤青路  | 福井典子     |
| 伊藤 守   | 国見修二  | 棚橋牧人  | 福島昭子     |
| 今井要一   | 下條泰生  | 谷藤順子  | 福永教正     |
| 今村威    | 斉藤淑子  | 谷藤正人  | フジコ・ヘミング |
| 内野綾子   | 酒井董美  | 玉井祥子  | 藤澤 昇     |
| 梅田郁子   | 坂口佳志江 | 玉谷邦博  | 藤島寛昌     |
| 江村清    | 坂野美恵子 | 千葉 伝  | 藤森久美子    |
| 大河原尚夫  | 佐藤久子  | 辻 容子  | 古川洋文     |
| 大野隆司   | 佐藤久光  | 泊 和男  | 増田義弘     |
|        | 佐藤昌代  | 巴 稔   | 松代洋子     |
|        | 佐藤一美  | 長尾優子  | 松永忠夫     |

### 「団体」

- 松原健之
  - 黛 治男
  - 三浦敏昭
  - 三浦眞澄
  - 三浦美智代
  - 三浦義孝
  - 宮地勝美
  - 武藤元昭
  - 村井繁雄
  - 村田正巳
  - 村山眞奈美
  - 安岡富士子
  - 安元 稔
  - 山折哲雄
  - 山川 忠
  - 山口洋子
  - 山崎秀甲
  - 山下五郎
  - 結城天鼓
  - 湯川れい子
  - 横沢裕子
  - 吉田紀世子
  - 吉田法子
  - 吉田陽子
  - 米野宗禎
  - 渡部由美子
- 株式会社花の企画社  
全国わらべうたの会  
つるみ文芸協会  
坊田かずまの会  
よし田

### 皆様からのお便り・ご投稿をお待ちしております。

- ◎子守唄について疑問に思うこと・知りたいこと、子育てについて思うこと、親子の思い出話などお送りください。思い出の写真なども募集しております。
- ◎あなたの町の地域活性化のための活動や育児支援活動、町ならではの活動など紹介したい情報がありましたら、ぜひぜひお教えください。「ららばい通信」を通じて地域の情報交換をしませんか？
- ◎皆様と共にららばい通信をより良いものにしていきたいと考えております。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

### 日本子守唄協会事務局 編集人・西館好子

〒125-0054  
東京都葛飾区高砂3-13-13 三浦ビル1階  
TEL 03-6458-0283  
FAX 03-6458-0284  
Eメール info@komoritajp  
URL https://www.komoritajp/

ららばい通信ご入用の方は当協会にご連絡下さい。  
また、保存希望の施設や団体の方も合わせてお申込みくださいませ。